

NK-2000

機上測定機

NK-2000

導入効果レポート

ON Machine Measurement Tool

【導入実績加工機】

- ・型彫り放電加工機
- ・ワイヤー放電加工機
- ・マシニングセンタ
- ・平面研削加工機
- ・ターレット旋盤
- ・汎用旋盤
- ・プロファイル研削盤
- ・ジグ研削盤
- ・工具研削盤

保有の加工機にカメラがセットできるメリット

NK-2000 による計測とは

- ・カメラを用いた高倍率画像による計測
- ・加工機の座標を取り込み、加工機のステージを活用する計測
- ・加工エッジを画面で確認しながらの計測
- ・計測した画像・数値が保存できる計測
- ・CAD 図との差分が画面上で確認できる計測



機上測定機 NK-2000 導入効果

NK-2000 導入ユーザーの声

ユーザー1.

「加工ミスが少なくなり、材料のロス率が改善できた」

加工後に機外の顕微鏡測定を行い、追加加工が必要になり加工機にワークを戻そうとしたが、元の姿勢に戻せずワークを廃棄することもありました。NK-2000 で加工機上での確認後、即追加加工が可能になった。

ユーザー2.

「会社の収益改善ができた」

材料のロス率が低減でき、機外で計測する時間も短出できるため、会社の収益率が良くなった。

ユーザー3.

「加工者の技術レベルが向上した」

加工面の状態をカメラで拡大表示(最大 1600 倍)し、ミクロンオーダーで計測でき保存できるため、加工の技術フィードバックができるようになった。(今まではやりっぱなしでした・・・)

ユーザー4.

「自動化により職人技術が不要になった」

カメラによる自動化により、ワークの位置決め・加工後の計測・追加加工が自動で行われるため、職人しかできなかった難しい加工がだれでも短時間でできるようになった。

ユーザー5.

「画像を使った技術継承ができた」

難しい加工の内容を計測画面の画像保存を活用して行っている。

【導入事例】

- ・加工後のワーク計測
- ・加工前のワーク位置決め
- ・加工機 NC 連動による半自動加工
- ・加工時 NC 連動による完全自動化
- ・CAD 図トレースによる自動差分測定
- ・自動補正加工
- ・加工技術継承用ツール

